

<真剣味>⑭

2014. 11. 19

蒸しケーキ

先週、次男（小学校2年生）の学級では収穫祭ということなのか、自分たちで育て・収穫したサツマイモを使って料理を作るという行事がありました。そこで補助として唯一の男として参加させてもらいました。次男の班では蒸しケーキでした。料理のプリントを確認しながら、道具出し、芋洗い、皮むきと児童は、僕もやりたい、私もやりたいと元気いっぱいに取り組んでいました。そして次の工程である芋を切るところになると女子と一部の男子はやりたいオーラを出していましたが、ある男子はそれまでと違って人の後ろに回り、やりたいオーラが出ていませんでした。でも最終的には最後の一人として包丁を使って芋を切ることができました。その時、どうして後ろに回ったのかな！という疑問がわきました。家で包丁を使ったことがないから怖いのかな、あるいは失敗するのがいやなのかな、また他に何か理由があるのかな！ということを考えていました。

私はずうっと彼を見ていて、もしかして彼は慎重で、友達の包丁の使い方を見て、実際にどうすれば良いのかを確認していて、この工程では最後になったのだと思うようになりました。人は初めてのことに当たった時に、要領を頭に叩き込み自分から積極的に行く人もいれば、逆にゆっくりでも確実にやり遂げるいろんな人がいることに、久々に気が付きました。蒸しケーキは思ったより作りやすく、とても美味しく出来上がりました。

1分のために

数か月前にN中学校の卒業生から✉がありました。私の年齢になると、もしかして同級生に不幸かなと嫌な予感がはしりました。でも違いました。結婚式への招待の✉でほっとしました。その時に言われたことが、乾杯の音頭を取ることでした。26年の教員生活で教え子の結婚式に出ることじたい殆んどない経験ですので、すぐにOKをしました。でも乾杯？大丈夫かなと不安も走りました。調べてみると≡1分間が勝負ということ。血液型Aの私としては内容が固いと人に言われてもきっちりやりたいタイプ。だから考えました。書きました。そして何回も読んで練習しました。幾つになってもあがりはあります。パニックになって話せなくなったら大変ですので、文章の最初の文字はインプットしました。お・・・、お二人の末永い幸せ。ついに当日、冷静のつもりだったがスイッチが入っていたようで、同テーブルの教え子から先生大丈夫だから！と励まされました。少々情けない。1分間のため、きっちり練習して本番に備えた。練習試合がなかったことは残念。でも新郎の笑顔があったということはもしかしてOKかも。何故かいつの間にかスピーチが名古屋弁になっていた。

夢に向かって

11月16日（日）、新潟ユニゾンプラザでリトルシニアの卒・入団式が行われました。卒団式には14名が、入団式には4名が参加しました。呼名しながら選手のプレーが目に見えようでした。卒団生はこれから自分の意に沿った高校を選び、夢の実現に向けて努力してください。勉強はもちろんのこと、体型が変わることのないようこの冬、気を付けて生活してください。3年間、本当にご苦労様でした。入団生はこれからGambaa。